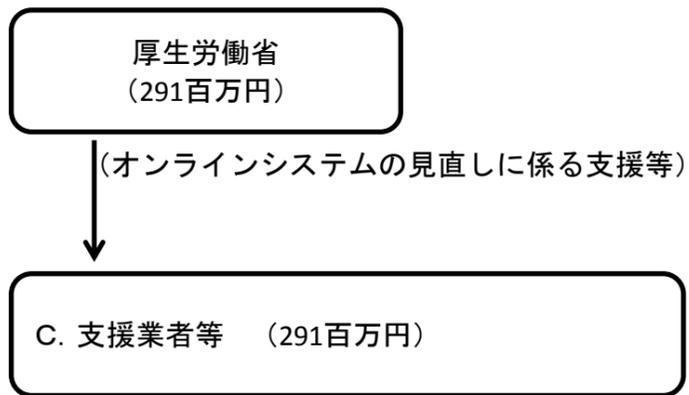


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	社会保険オンラインシステムの見直しに必要な経費		担当部局庁	年金局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度		担当課室	事業企画課	事業企画課長 赤澤 公省		
会計区分	年金特別会計業務勘定		政策・施策名	IX-1-2 公的年金制度の信頼を確保するため、適正な事業運営を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国民年金法第74条2項及び厚生年金保険法第79条2項		関係する計画、通知等	「公的年金業務の業務・システム最適化計画」(平成18年3月厚生労働省情報政策会議決定。平成23年3月改定。)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「電子政府構築計画」(平成15年7月各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定)中の「レガシーシステム見直しのための厚生労働省行動計画(アクション・プログラム)」に基づき、社会保険オンラインシステムの見直しを実施し、効率的かつ合理的なシステム構築の実現により、コスト削減等を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「公的年金業務の業務・システム最適化計画」(平成18年3月厚生労働省情報政策会議決定。平成23年3月改定。)に基づき、社会保険オンラインシステムの見直しを実施し、効率的かつ合理的なシステムの構築を実現する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	46,271	12,077	292	1756	8,003
		補正予算					
		繰越し等	7,411				
	計	53,682	12,077	292	1756	8,003	
	執行額	45,286	11,900	0			
執行率(%)	84.4%	98.5%	0.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	膨大な被保険者等の記録の長期間の管理等を行っている社会保険オンラインシステムのオープン化等(記録管理及び基礎年金番号管理システムにおける専用機器から汎用機器への移行・ソフトウェアの再構築等)を図るものであり、定量的な数値指標(達成度)は設定していない。			成果実績	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	社会保険オンラインシステムのオープン化等(記録管理及び基礎年金番号管理システムにおける専用機器から汎用機器への移行・ソフトウェアの再構築等)を図ることとしているが、オープン化前の現時点において、活動指標及び活動実績に係る指標は設定していない。			活動実績(当初見込み)	-	-	-
単位当たりコスト	-		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	庁費の類	1,756	8,003	新規オープンシステムの構築に向けたソフトウェア開発等を予定しているため。			
計	1,756	8,003					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	社会保険オンラインシステムは、国民年金及び厚生年金保険における適用、保険料徴収、年金給付の事業の安定的な運営に必須のものであり、本事業は、その見直しを実施し、効率的かつ合理的なシステムを構築することを目的とし、コスト削減等を図るために必要な事業であることから国費により行う必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国民年金制度及び厚生年金保険制度の運営責任を持つ国において行うべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	本事業は、社会保険オンラインシステムの見直しを実施し、効率的かつ合理的なシステムを構築することを目的としており、コスト削減等を図るために必要な事業である。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	国民年金法、厚生年金保険法に基づき、国民年金保険料、厚生年金保険料をそれぞれのシステム見直しのための経費に充てることとしており、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	委託業務を予定していた事業について、作業範囲を見直すことにより職員が実施することとしたため。		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	社会保険オンラインシステムは、国民年金事業、厚生年金保険事業の運営にあたり不可欠のシステムとして活用されている。		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	本事業は、「公的年金業務の業務・システム最適化計画」に基づき、社会保険オンラインシステムの見直しを実施し、効率的かつ合理的なシステムを構築するためのものであり、これまでその基本設計を行ってきたところ。システムのオープン化等を進めることにより、経費の削減等が期待できることから本事業は必要性が認められる。なお、平成24年度においては、委託業務を予定していた事業について作業範囲を見直し、職員が実施したことにより経費の執行がなかったところであるが、今後はシステム構築に向けて開発経費等の執行が見込まれる。このため、執行の見直し等を十分考慮のうえ、効率的な概算要求を行う必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0877	平成23年	0774	平成24年	0682

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



※平成24年度の執行実績は0円である。
()内は平成24年度予算額であり、資金の流れは、
予算要求時に想定したものを記載している。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0.00

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	-	-	-	-	-